

# 女性の社会参画で地域を変えよう！

## ～アグリライフ山武からの情報発信～

アグリライフ山武の主催により、女性の意見が反映される地域づくりをすすめることをねらいに、75名の参加のもと「男女共同参画研修会」が成東町の会場で開催されました。

船橋市農業委員の<sup>さいとうきょうこ</sup>齊藤教子さんを講師に招き、女性の社会参画がすすまないのはなぜか、社会参画を実現するために何ができるかについて話を聞きました。

齊藤さんからは「女性の意志の強さで参画は進む。そのために自分を発散できる場をもつことが大切。女性が変われば男性も変わる。」と力強いメッセージをいただきました。

続いて会員の<sup>すずきたかこ</sup>鈴木隆子さんがコーディネーターとなって「社会参画を進めるために取り組みたいこと」をテーマに意見交換会を行いました。

終了後、参加者からは「地域や団体で活動内容を伝えたり、意見を聞く場が欲しい」「女性が変わろうとしないと何も変わらない。自分から一歩踏み出そう」との積極的な感想が出されました。

今後は、男性も含めた各農業団体のネットワーク化を図り、あらゆる場面で思いや感じていることが伝えられるような環境づくりに取り組んでいきます。



講演会の様子



意見発表する会員



男性からも意見が！

## 各地の話題・成東町

# 新たな特産品を目指し

## 成東いちじく、待望の初出荷

成東町では、昨年4月に成東町いちじく組合<sup>うちやまよしはる</sup>(内山良治組合長、組合員18名)を設立し、9月7日に待望の初出荷となりました。

いちじくは、古くからなじみのある果実ですが、近年は高ミネラル、低カロリー果実であることから機能性食品として注目されています。

本年は、植え付けてから2年目で、また台風の影響で予定より2週間程の遅れの出荷となりました。

栽培品種は、「柵井ドーフィン」で一文字整枝法を取り入れています。

収穫・出荷は、果実温度の低い早朝に収穫し、午前中にJA山武郡市に搬入・検査、予冷した後、千葉中央卸売市場に出荷しています。

今後は、栽培面積を増やし、成東町の農業を担う特産果樹として期待されます。



初出荷のいちじく



いちじく栽培の様子

各地の話題・松尾町

## 農村の食文化を体験！

### 親子料理教室開催

松尾町にある「よもぎかん」で、指導農業士会山武支部との連携により、夏休みを利用して親子料理教室が開催されました。

食と農の体験工房「よもぎかん」は、農業体験や農産加工体験など農業と食が身近に感じられる空間として、昨年10月にオーナーの鈴木和子さんがオープンさせました。

松尾小学校の5・6年生14名と保護者6名が、伝統の「太巻きずし」や「ミルクくずもち」、「とれとれ野菜サラダ作り」に挑戦しました。初めて挑戦する巻きずしのチューリップに感動し、大豆を石臼で挽きな粉づくりに、歓声をあげ体験していました。

「よもぎかん」では、土にふれる・食べるものを作るという体験をとおして、心に刻まれる感動を伝えようと、地域と連携した食育活動をめざします。



太巻きずしの由来を聞く子供達

## 技術情報・水稻

# 水稻新品種「ちば 28 号」の紹介

県では、平成 10 年度にデビューした「ふさおとめ」に続き、中生品種「ちば 28 号」(中部 64 号×ふさおとめ)を育成し、本年3月に奨励品種に採用しました。平成 18 年から一般栽培が開始されます。

### <品種の特徴>

生育面では、「コシヒカリ」と比較して、出穂期が6日、成熟期が9日それぞれ早く、稈長は 15~20cm 短いため倒伏しにくい品種です(表参照)。

また、病気(穂いもち病)と低温に強いことが特徴です。

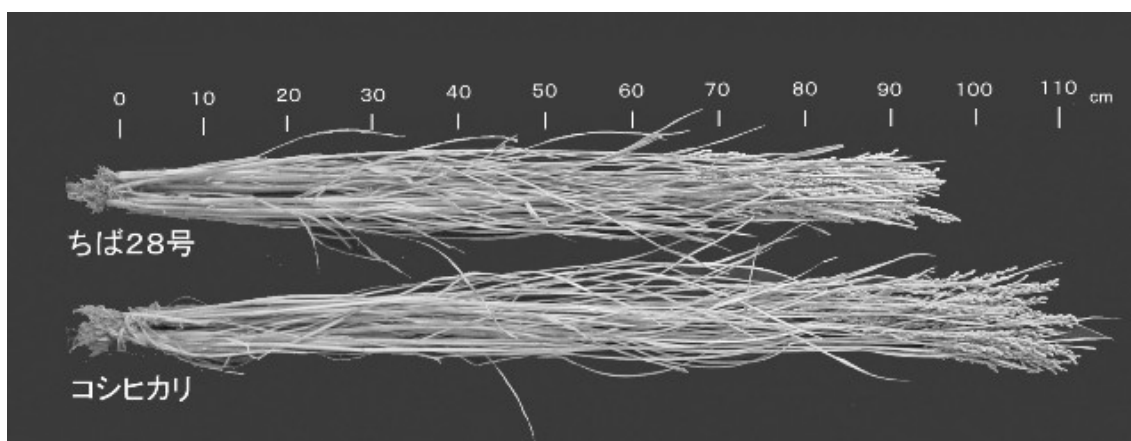
品質面では、大粒で食味は「コシヒカリ」に匹敵し、高温の夏でも乳白米などの未熟粒の発生が少なく、中生品種としてはこれまでにない高品質な品種です。

当センターでは、来年度からの一般栽培に向けて、本年度は蓮沼村に栽培展示ほ場を設置し、生育経過の把握や現地検討会を行いました。

今後は、県内各地の栽培展示ほ場の結果や、県栽培マニュアルなどにより情報提供を行っていきます。

表 「ちば 28 号」と他品種との比較(佐原市 播種4月4日 移植4月 25 日のデータ)

品 種 名	出穂期 月 日	成熟期 月 日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>
ちば 28 号(ふさこがね)	7/27	9/2	71	18.4	414
ふさおとめ	7/23	8/28	73	17.7	423
コシヒカリ	8/2	9/11	86	18.8	398



ちば 28 号とコシヒカリの稲株の比較

## 技術情報・野菜

# スイカ栽培の自己採点

今年のスイカでの急性萎凋症の発生は、昨年の対策と本年の気象条件によって少なくすみしました。

来作も発生を少なくし良品出荷をするために、栽培管理の要点を点検し、「はい」の少ない方は管理を見直しましょう。

## 1. 交配前後の管理

春先の低温・日照不足で、いつもよりツルがおとなしかった分、節位（葉枚数）を充分確保し着果させることがポイントでした。特に4本仕立てでは、3本仕立てよりもツルの出来が遅くなるため、樹を作ってから着果させる必要があります。

また、交配前に葉が硬くなると雄花、雌花の質が悪くなるので、トンネル内を冷やさないことも重要です。

### （1）着果位置

- ・ 3番花で20節前後の雌花に交配できましたか？

（ はい ・ いいえ ）

- ・ 4本2果穫りでの低節位着果は避けられましたか？

（ はい ・ いいえ ）

- ・ 果実の肥大を良くするため、畝の中央付近で着果させることができましたか？

（ はい ・ いいえ ）

### （2）温度管理

- ・ 保温や冷風を直接入れない換気管理で適切な温度を保てましたか？

（ はい ・ いいえ ）

## 2. 着果後の管理

着果後の20日間は最も肥大が旺盛になる大切な時期ですが、初期肥大を促す温度と灌水管理に個人差があるようです。

灌水は圃場条件によって異なります。乾燥が強い場合に限り灌水をしますが、やり過ぎには注意します。

### （1）温度管理

- ・ 夜間は中トンネルを活用した保温管理ができましたか？

（ はい ・ いいえ ）

- ・ 昼間は午前中を中心に暖かくし、午後は午前に比べ温度を下げて樹を休めましたか？

（ はい ・ いいえ ）

- ・ 夜間の温度が確保できる時間帯に、ハウス・トンネルは閉めましたか？

（ はい ・ いいえ ）

(2) 灌水

- ・特に曇雨天、低温時の灌水を回避しましたか？  
( はい ・ いいえ )

### 3. 土壌病害虫の確認

土壌病害虫の発生を確認することは、来作の出来不出来を大きく左右します。

- ・収穫終了後に根を掘り取って観察しましたか？  
( はい ・ いいえ )
- ・根は健全でしたか？  
( はい ・ いいえ )

シリーズ・産地を支える女性たち

## 九十九里町・高橋富美子さん

### 新しいことにチャレンジ

今回紹介する女性は九十九里町小関の高橋富美子さんです。

高橋さんはJA山武郡市第1集出荷センターの施設部会に所属する施設ナス専作農家で、パートナーとお母さんの3人で約1000坪のナスの周年栽培に取り組んでいます。

高橋さんは、とかく男性主体となりがちな栽培の検討会などにも積極的に参加し、他の農家の人達と活発に意見交換するなど、とても明るく、元気な女性です。

そんな高橋さんですが、昨年からは地域でもあまり生産のない水ナスの栽培に取り組み始めました。

高橋さんいわく、単調な農作業が多い中、新鮮な気持ちで栽培に取り組むためにも、常に新しいことに取りくむようにしているとのこと。

水ナス栽培もその一環で、昨年の100坪程度の栽培から、今年は300坪に増やし、栽培は試行錯誤の連続のようですが「何とか成功させたい！」と意気込みを語ってくれました。この取り組みは、産地の活力の源にもなっています。



水ナス

# シリーズ・旬の味 ねぎ味噌

ネギは、山武地域の主力作物の1つです。

ねぎには、匂いと辛みの成分「アリシン」や「ネギオール」があり、殺菌・発汗作用また疲労回復効果が認められています。

体の中から暖め、風邪の引きはじめなどによいとされるなじみの深い食材で、自信をもって食べて頂ける一品です。

## 材料（4人分）

ネギ	1本
味噌	50g
さとう	大さじ1
みりん	大さじ1
酒	大さじ2

## 作り方

1. ネギは、洗って小口切りにする。
2. なべに味噌、砂糖、みりん、酒をいれ、中火でとろーりと練る。
3. 別に用意しておいた小口切りのネギを加えてできあがり。

焼いた「なす」や「さつまいも」、「ニンジン」などの野菜に添えたり、焼きおにぎりにねぎ味噌を塗ってさっと焼いたり、炊きたてご飯にのせてそのまま食べてもとってもおいしいです。